

「自由」に対する意識調査

(第1回)



ジユウ研究所
Japan Liberty Lab



要約

- 現状について「自由」と感じている人の割合は66.8%となった（Q1）。また日本が「自由な国」だと感じている人の割合は69.4%となった（Q4）。いずれも特に60代以上の世代において「自由」、「自由な国」と回答する人の割合が高かった。
- 「自由」を感じる要素として「時間」や「お金」、「好きなこと」を選択する人の割合が高かった（Q2）。「自由」を阻害する要因については「収入」や「税金」など「お金」にまつわる選択肢を選ぶ人の割合が高くなった（Q5）。
- 「自由」だと思う国についてはアメリカが1位、日本が2位という結果になった（Q6）。
- 現状の日本政府（石破内閣）が自由を尊重していると思うかについては、尊重している、尊重していないが拮抗する結果となった（Q8）。自由を尊重していると思う日本の政党については、自由民主党、国民民主党、立憲民主党の順となった（Q9）。
- ネットやSNSなど情報通信技術の発展に関してはポジティブ・ネガティブが拮抗する結果となった（Q10）。お酒やタバコ、ギャンブルなどを行う自由については「個人の自由」と捉えつつも一定のルール作りが必要との回答が多い結果となった（Q11）。

1. 調査概要

(1) 実施方法

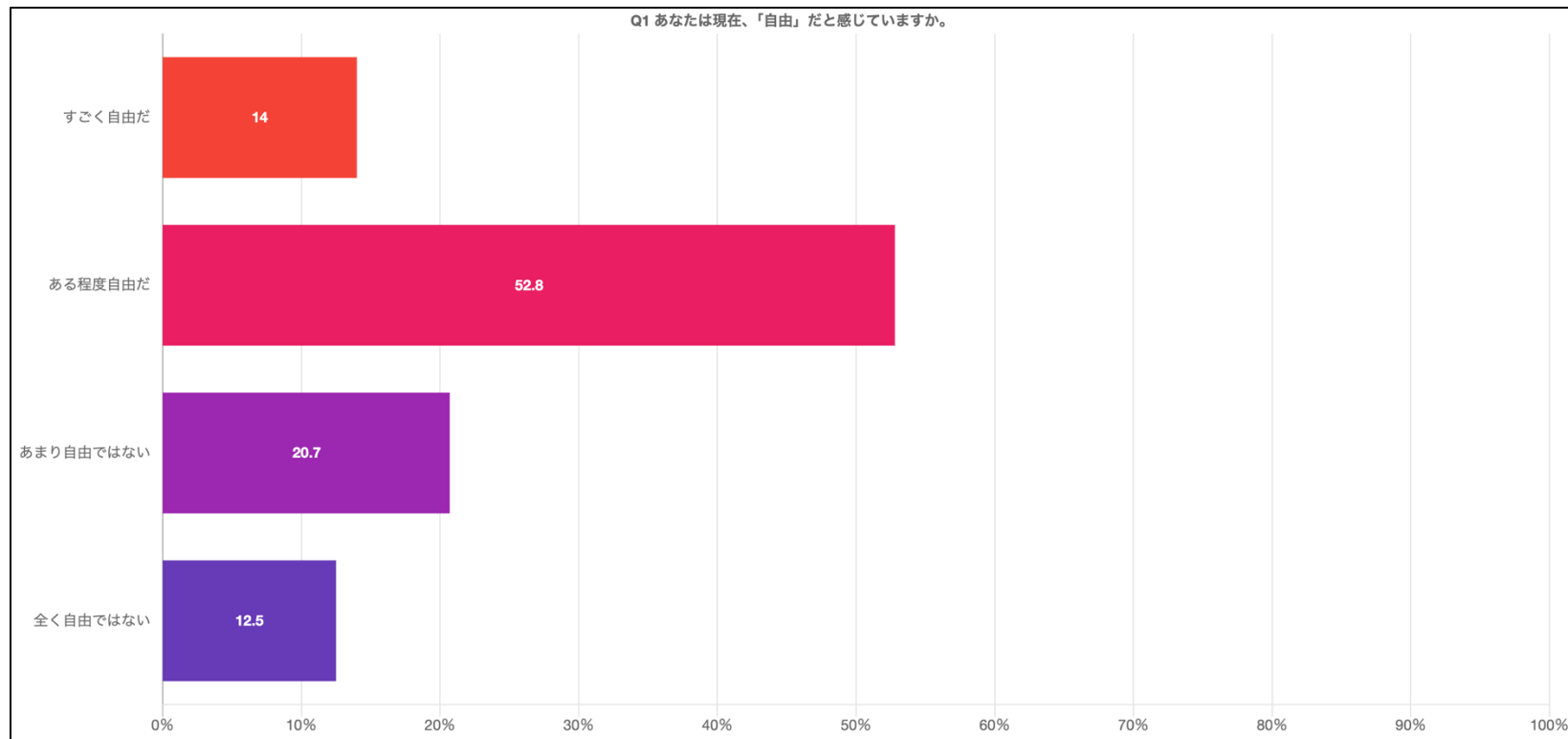
- 調査主体：ジユウ研究所
- 調査時期：2025年9月25日～26日
- 調査方法：インターネットリサーチ

(2) 調査対象

- 調査人数：1000人
- 男女半々、各年代から均等になるように人数を調整して実施

Q1. あなたは現在、「自由」だと感じていますか。

- 全体の中で**66.8%の人が「すごく自由だ」・「ある程度自由だ」を選択する結果となった。**
「自由」と感じている人の割合が3分の2を超えた。

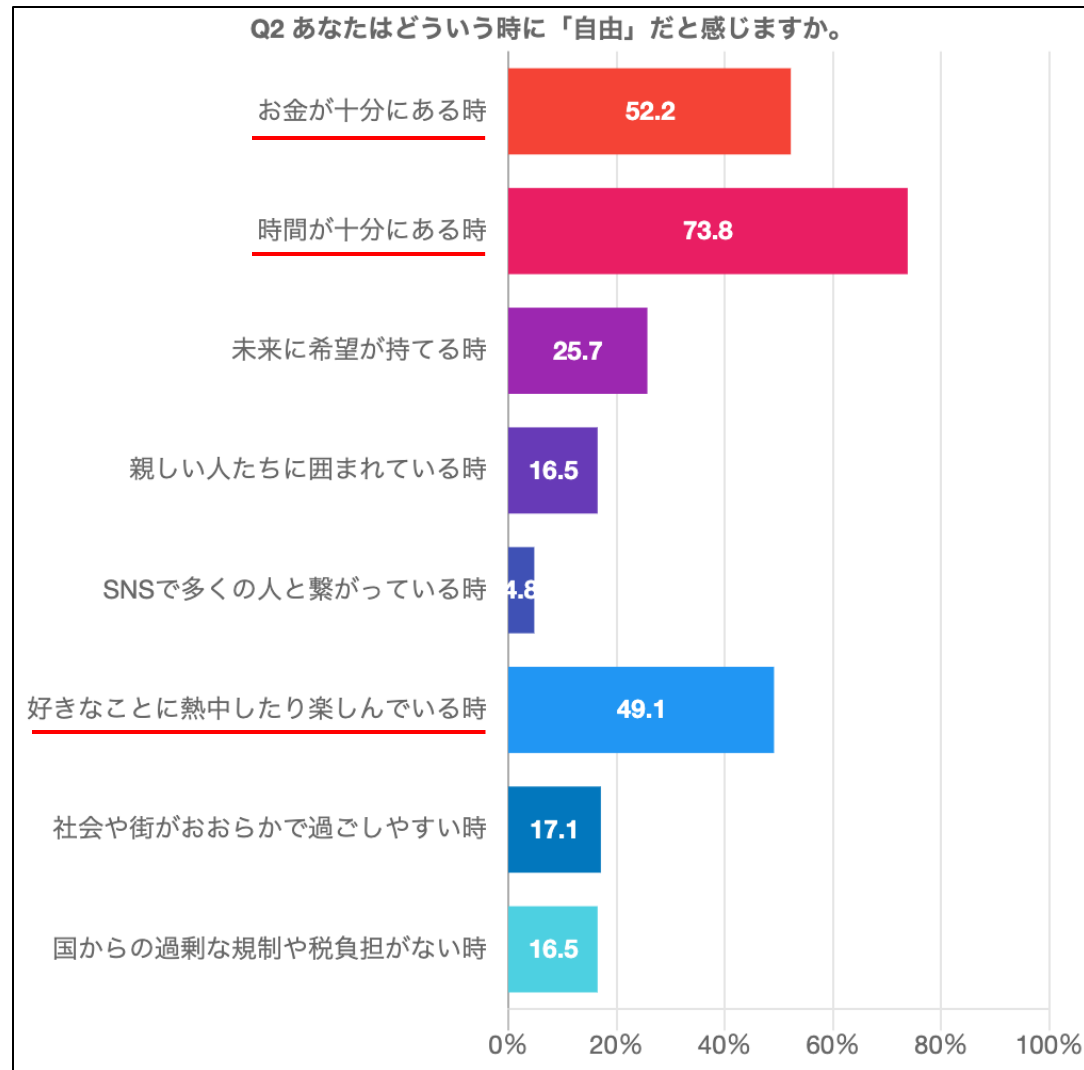


Q1の結果の補足（世代別）

- 世代別で自由と感じる程度に違いが見られたが、特に「60代以上」は、「**すごく自由だ**」・**「ある程度自由だ」**を選択する割合が**80%超**となった。

	すごく自由だ	ある程度自由だ	（合計）	あまり自由ではない	全く自由ではない	（合計）
10代	18.67%	48.80%	67.47%	23.49%	9.04%	32.53%
20代	14.46%	41.57%	56.03%	25.30%	18.67%	43.97%
30代	9.64%	46.99%	56.63%	22.89%	20.48%	43.37%
40代	8.43%	52.41%	60.84%	23.49%	15.66%	39.15%
50代	12.50%	62.50%	75.00%	17.26%	7.74%	25.00%
60代以上	20.24%	64.29%	84.53%	11.90%	3.57%	15.47%

Q2. あなたはどのような時に「自由」だと感じますか。（複数回答）



- 「**時間が十分にある時**」を選んだ人の割合が**73.8%**と**最多**だった。次いで、「**お金が十分にある時**」を選んだ人の割合が**52.2%**、「**好きなことに熱中したり楽しんでいる時**」を選んだ人の割合が**49.1%**と続いた。
- 世代別で異なる傾向が見られた（次ページ参照）。

Q2の結果の補足（世代別、男女別）

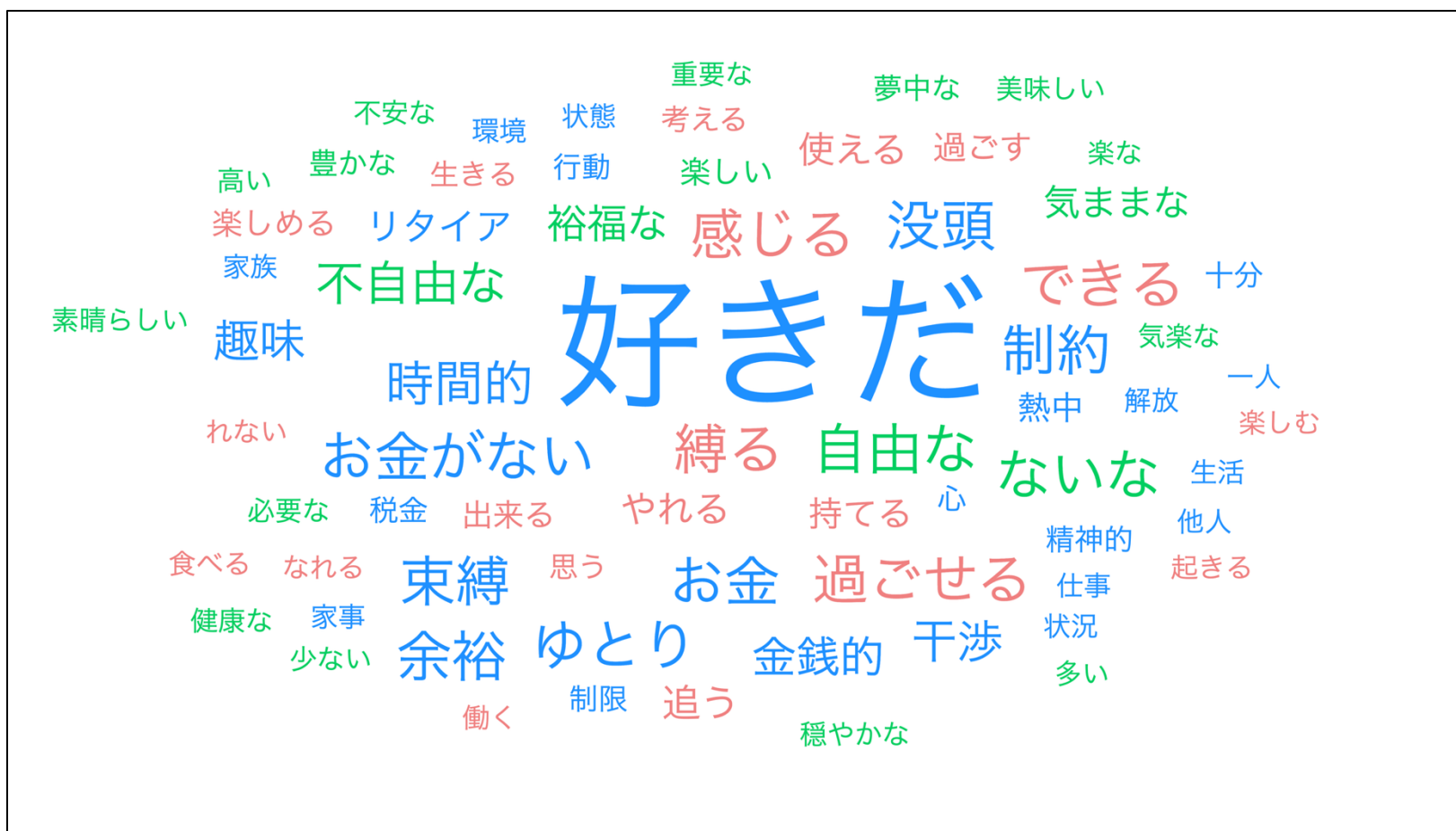
- 世代別では、10代、20代は「お金」や「未来への希望」、「親しい人たち」、「SNS」などが選択される傾向となった。30代、40代では「お金」や「未来への希望」などが、また50代や60代以上では「好きなこと」や「社会状況」などが選択される傾向となった。

	お金が十分にある時	時間が十分にある時	未来に希望が持てる時	親しい人たちに囲まれている時	SNSで多くの人と繋がっている時	好きなことに熱中したり楽しんでいる時	社会や街がおおらかで過ごしやすい時	国からの過剰な規制や税負担がない時
10代	61.45%	69.28%	31.93%	28.31%	12.05%	50%	15.06%	12.05%
20代	50.60%	62.05%	22.89%	17.47%	8.43%	34.34%	12.65%	21.69%
30代	56.63%	71.69%	24.70%	12.65%	3.61%	33.13%	12.05%	16.27%
40代	56.63%	81.93%	27.71%	13.86%	3.01%	51.20%	24.10%	16.27%
50代	48.21%	82.14%	22.62%	11.90%	1.19%	58.33%	17.86%	16.67%
60代以上	39.88%	75.60%	24.40%	14.88%	0.60%	67.26%	20.83%	16.07%

※同一項目内で上位三つを色分け

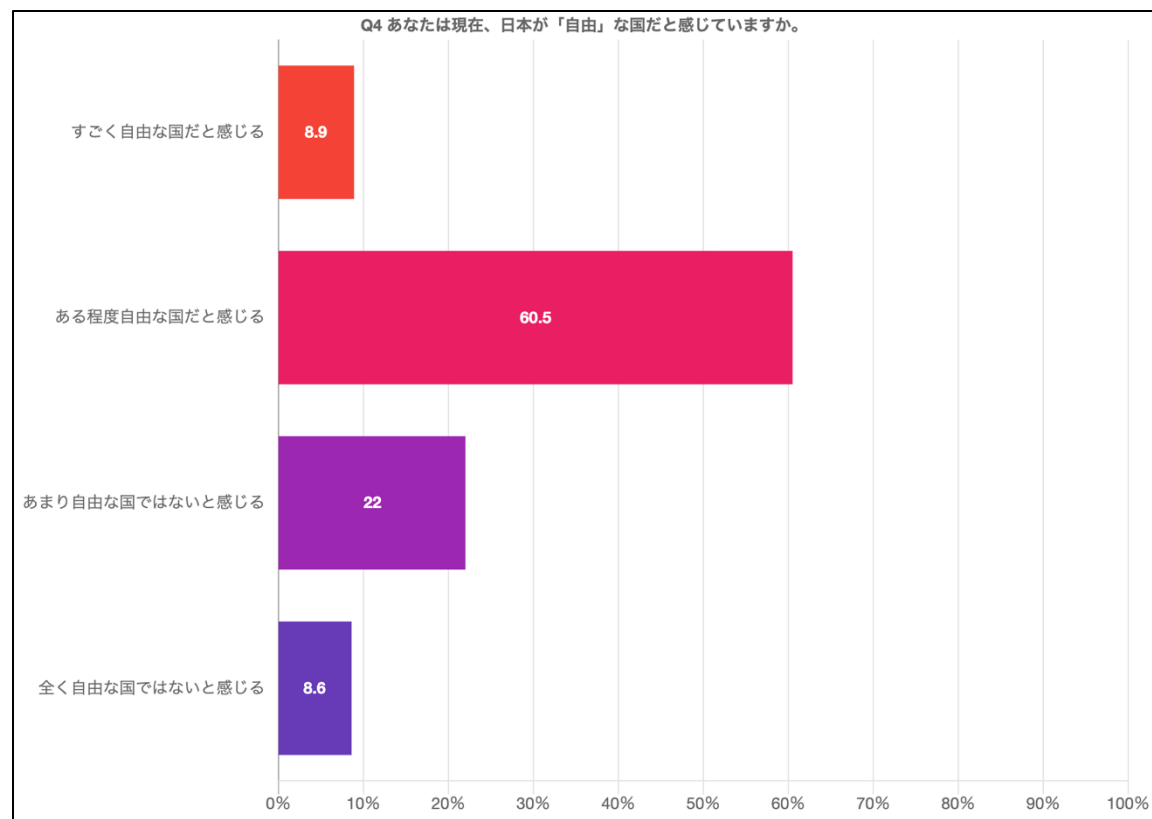
Q3. 『Q2. あなたが「自由」を感じる時』で選択肢を選んだ理由

➤ 前の問で選択した理由を自由回答で聞き、それをワードクラウド化した結果、下記の通り。



Q4. あなたは現在、日本が「自由」な国だと感じていますか。

- 全体の中で**69.4%の人が「すごく自由な国だ」・「ある程度自由な国だ」を選択する結果となった。**日本を「自由な国」と感じている人の割合が3分の2を超えた。



Q4の結果の補足①（世代別）

- 世代別で自由な国だと感じる程度に違いが見られが、Q1同様、特に「60代以上」は、「**すごく自由な国**」・「**ある程度自由な国**」を選択する割合が**80%超**となった。

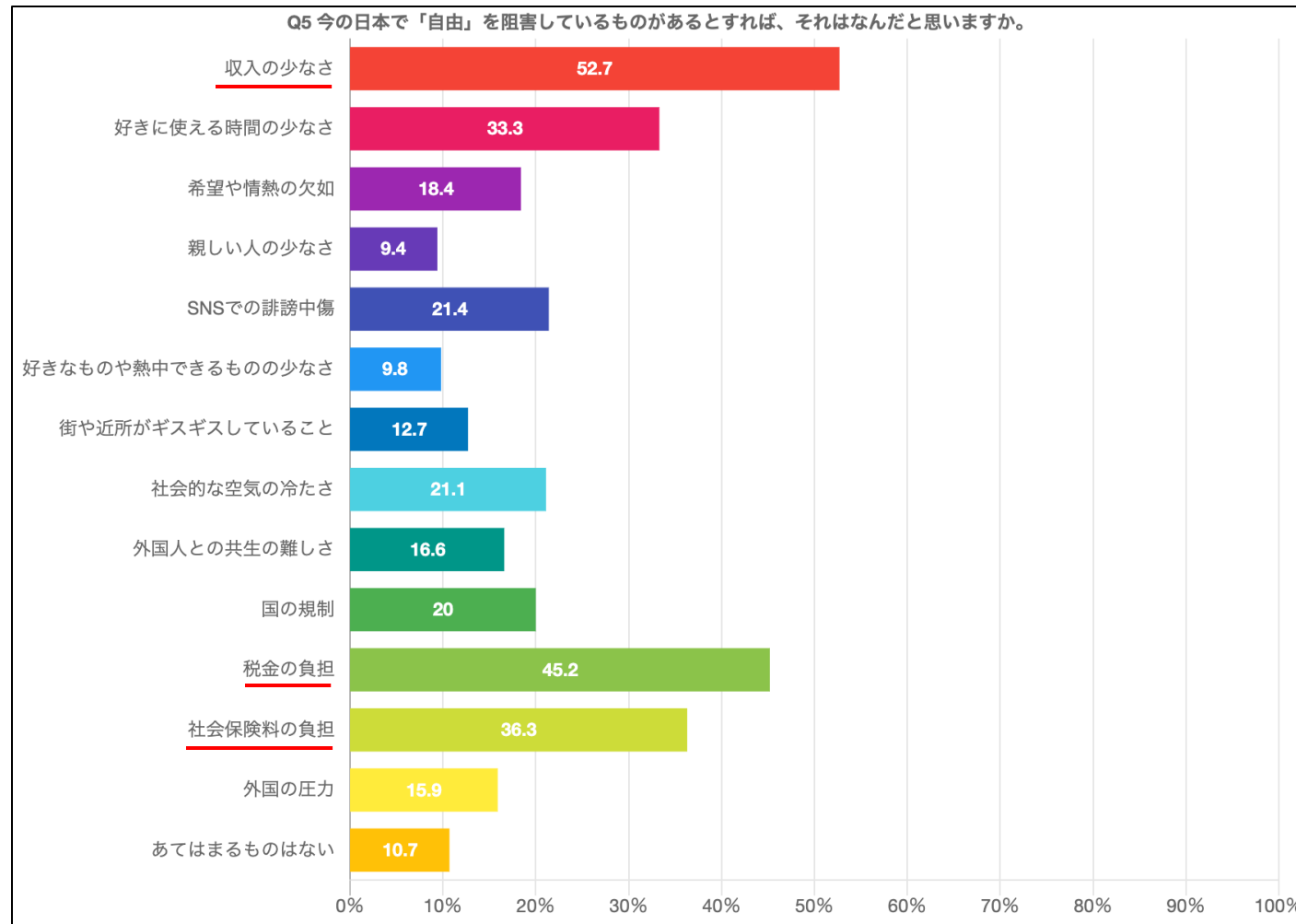
	すごく自由な国だと感じる	ある程度自由な国だと感じる	（合計）	あまり自由な国ではないと感じる	全く自由な国ではないと感じる	（合計）
10代	13.86%	64.46%	78.32%	17.47%	4.22%	21.69%
20代	7.23%	51.81%	59.04%	27.71%	13.25%	40.96%
30代	6.63%	51.20%	57.83%	28.92%	13.25%	42.17%
40代	5.42%	59.04%	64.46%	25.30%	10.24%	35.54%
50代	8.93%	63.69%	72.62%	20.83%	6.55%	27.38%
60代以上	11.31%	72.62%	83.93%	11.90%	4.17%	16.07%

Q4の結果の補足②（Q1とのクロス集計結果）

- Q1（「あなたは現在、「自由」だと感じていますか。」）とQ4のクロス集計を行ったところ、「**個人としての自由さ**」と「**国としての自由さ**」には**同一傾向の回答**を選択する人が多いことがわかった。

			Q4 あなたは現在、日本が「自由」な国だと感じていますか。			
			すごく自由な国だと感じる	ある程度自由な国だと感じる	あまり自由な国ではないと感じる	全く自由な国ではないと感じる
Q1 あなたは現在、「自由」だと感じていますか。		1000	89	605	220	86
		100.0%	8.9%	60.5%	22.0%	8.6%
	すごく自由だ	140	43	81	10	6
		100.0%	30.7%	57.9%	7.1%	4.3%
	ある程度自由だ	528	38	395	90	5
		100.0%	7.2%	74.8%	17.0%	0.9%
	あまり自由ではない	207	5	100	82	20
		100.0%	2.4%	48.3%	39.6%	9.7%
	全く自由ではない	125	3	29	38	55
		100.0%	2.4%	23.2%	30.4%	44.0%

Q5. 今の日本で「自由」を阻害しているものがあるとするれば、それはなんだと思いますか。（複数回答）



- 「**収入の少なさ**」を選んだ人の割合が**52.7%**と**最多**だった。
。「**税金負担**」や「**社会保険料の負担**」を選んだ人の割合も高く、お金関係が「自由」を阻害していると考えている人が多いことが伺えた。
- 世代別で異なる傾向が見られた（次ページ参照）。

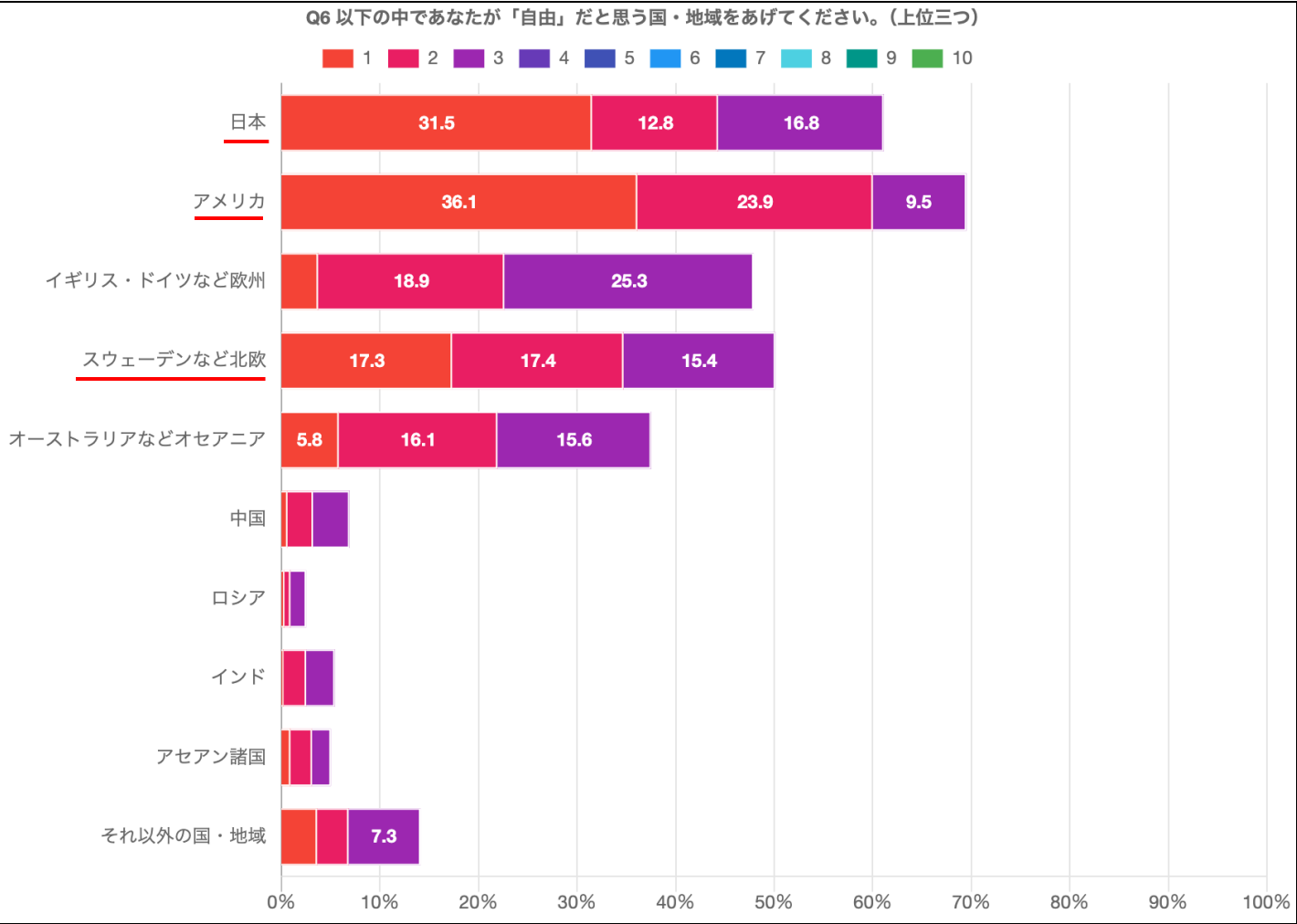
Q5の結果の補足

- 年代別では、10代や20代は「SNSの誹謗中傷」や「社会的な空気」「外国人との共生の難しさ」を自由を阻害する要因として選択する傾向となった。30代～50代では「収入の少なさ」や「時間の少なさ」などを、また60代以上では「希望や情熱の欠如」などを選択する人の割合が高い傾向となった。

	収入の少なさ	好きに使える時間の少なさ	希望や情熱の欠如	親しい人の少なさ	SNSでの誹謗中傷	好きなものや熱中できるものの少なさ	街や近所がギスギスしていること	社会的な空気の冷たさ	外国人との共生の難しさ	国の規制	税金の負担	社会保険料の負担	外国の圧力	あてはまるものはない
10代	51.20%	34.34%	16.27%	8.43%	37.95%	13.25%	10.24%	28.31%	20.48%	21.08%	46.39%	24.70%	15.66%	9.64%
20代	50.60%	30.72%	15.66%	10.24%	21.69%	7.23%	12.65%	22.89%	18.07%	18.07%	35.54%	30.72%	12.65%	18.67%
30代	57.83%	38.55%	17.47%	10.84%	12.65%	10.24%	8.43%	14.46%	17.47%	22.29%	42.17%	37.35%	12.65%	10.84%
40代	54.22%	36.75%	18.67%	11.45%	20.48%	8.43%	18.67%	21.08%	16.27%	24.10%	51.20%	39.16%	18.67%	7.83%
50代	54.76%	36.90%	20.83%	10.12%	19.05%	7.14%	12.50%	21.43%	13.69%	21.43%	51.19%	45.83%	13.69%	9.52%
60代以上	47.62%	22.62%	21.43%	5.36%	16.67%	12.50%	13.69%	18.45%	13.69%	13.10%	44.64%	39.88%	22.02%	7.74%

※同一項目内で上位三つを色分け

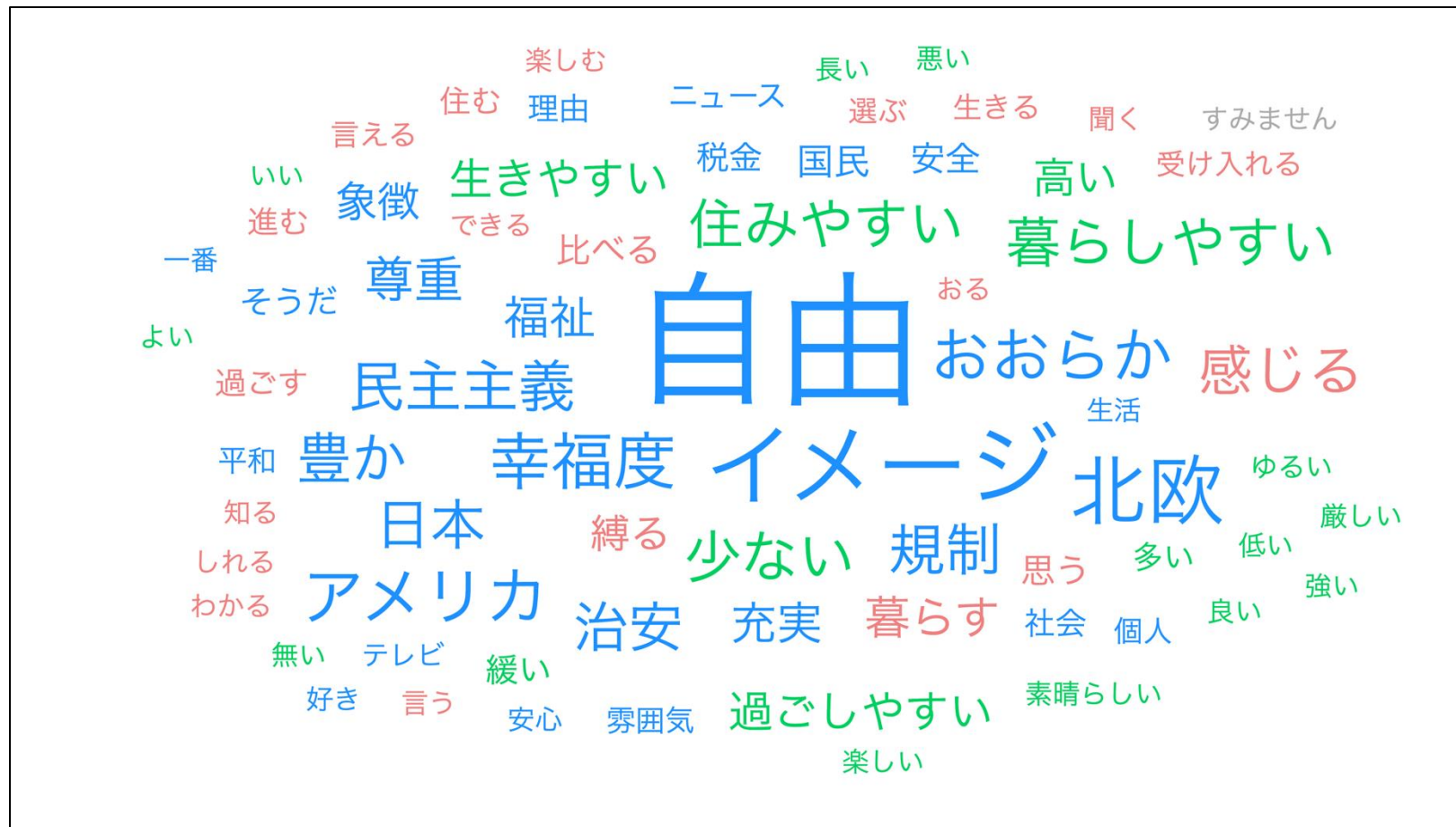
Q6. 以下の中であなたが「自由」だと思う国・地域をあげてください。（上位三つ）



➤ 「自由」な国として、最も上位に選択されたのはアメリカ、また次いで日本、スウェーデンなど北欧が上位に選択される結果となった。

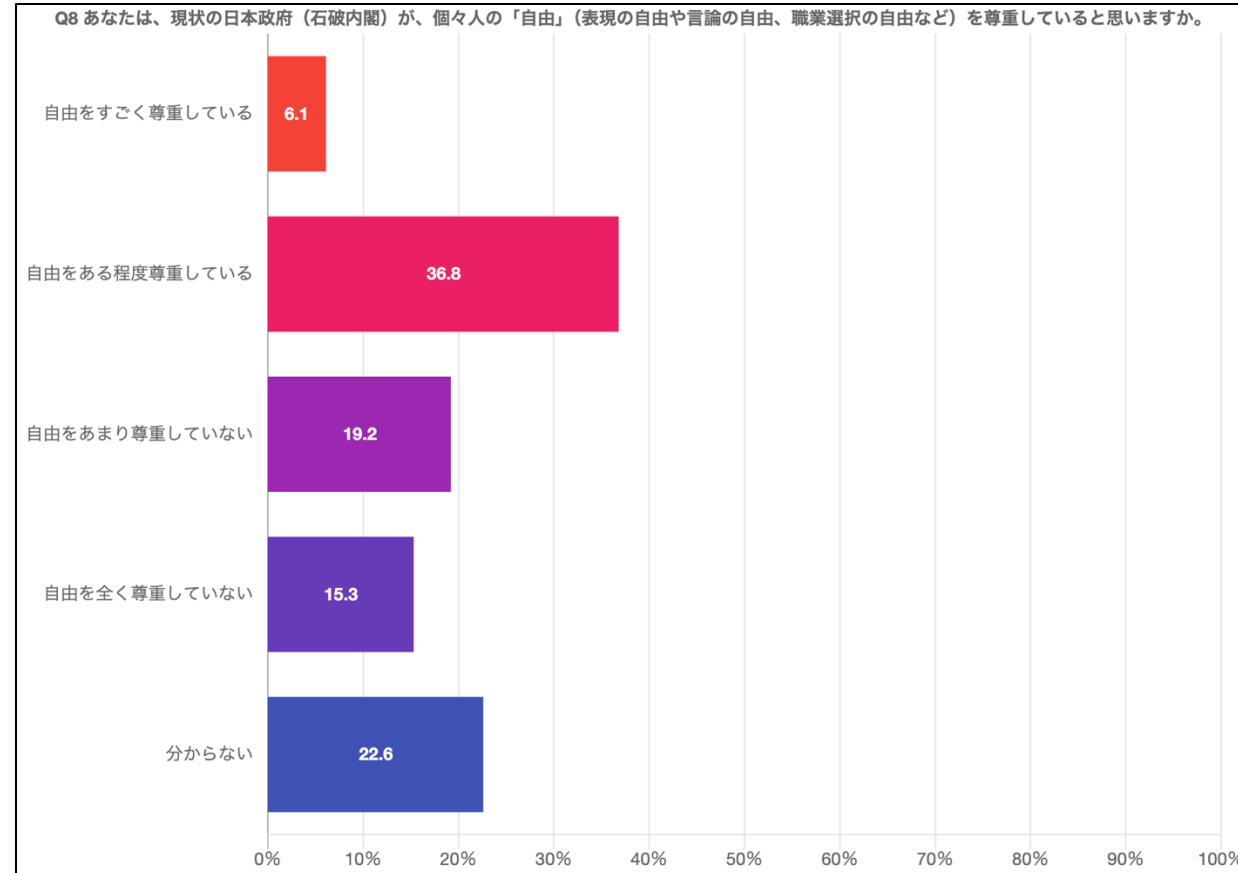
Q7. 前の問い（Q6）で回答した理由を教えてください。

➤ 前の問で選択した理由を自由回答で聞き、それをワードクラウド化した結果、下記の通り。



Q8. あなたは、現状の日本政府（石破内閣）が、個々人の「自由」（表現の自由や言論の自由、職業選択の自由など）を尊重していると思いますか。

- 自由を尊重しているという回答が42.9%、尊重していないという回答が34.5%という結果となり、比較的拮抗する結果となった。



Q8の結果の補足（世代別）

➤ 世代別で違いが見られたが、Q1、4 ほどには顕著な差は見られなかった。

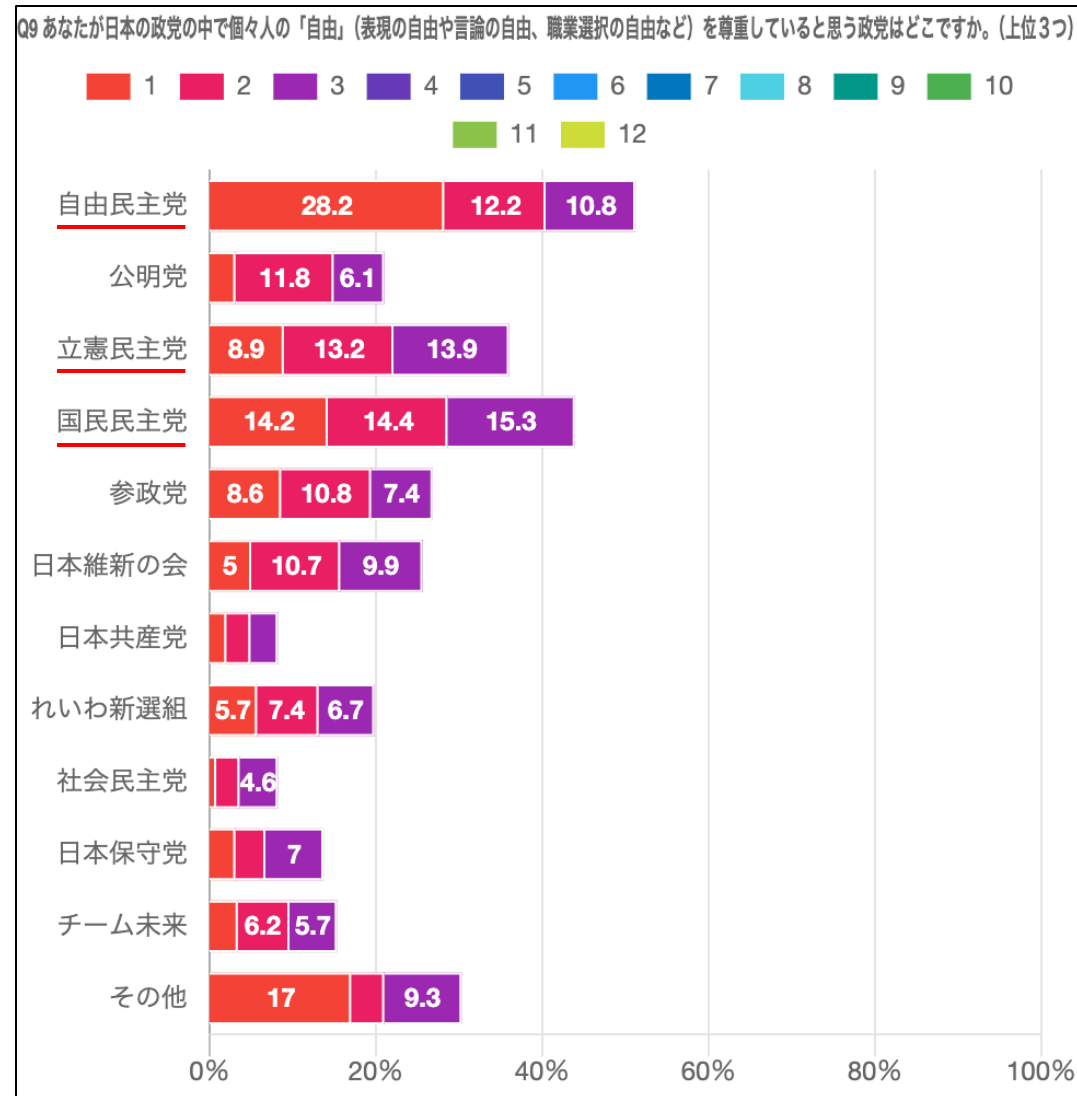
	自由をすごく尊重している	自由をある程度尊重している	(合計)	自由をあまり尊重していない	自由を全く尊重していない	(合計)	分からない
10代	9.04%	33.73%	42.77%	18.67%	12.65%	31.32%	25.90%
20代	6.63%	32.53%	39.16%	15.66%	21.69%	37.35%	23.49%
30代	6.63%	24.10%	30.73%	27.71%	19.28%	46.99%	22.29%
40代	3.61%	34.34%	37.95%	18.07%	18.67%	36.74%	25.30%
50代	5.36%	39.29%	44.65%	17.26%	11.90%	29.16%	26.19%
60代以上	5.36%	56.55%	61.91%	17.86%	7.74%	25.60%	12.50%

Q8の結果の補足②（Q1とのクロス集計結果）

- Q1（「あなたは現在、「自由」だと感じていますか。」）とQ8のクロス集計を行ったところ、「**個人としての自由さ**」と「**政府が個人の自由さを尊重している**」かどうかの回答には**同一傾向の回答**を選択する人が多いことがわかった。

			Q8 あなたは、現状の日本政府（石破内閣）が、個々人の「自由」（表現の自由や言論の自由、職業選択の自由など）を尊重していると思いますか。				
			自由をすごく尊重している	自由をある程度尊重している	自由をあまり尊重していない	自由を全く尊重していない	分からない
Q1 あなたは現在、「自由」だと感じていますか。		1000	61	368	192	153	226
		100.0%	6.1%	36.8%	19.2%	15.3%	22.6%
	すごく自由だ	140	28	56	20	11	25
		100.0%	20.0%	40.0%	14.3%	7.9%	17.9%
	ある程度自由だ	528	26	243	99	51	109
		100.0%	4.9%	46.0%	18.8%	9.7%	20.6%
	あまり自由ではない	207	3	58	54	37	55
		100.0%	1.4%	28.0%	26.1%	17.9%	26.6%
	全く自由ではない	125	4	11	19	54	37
		100.0%	3.2%	8.8%	15.2%	43.2%	29.6%

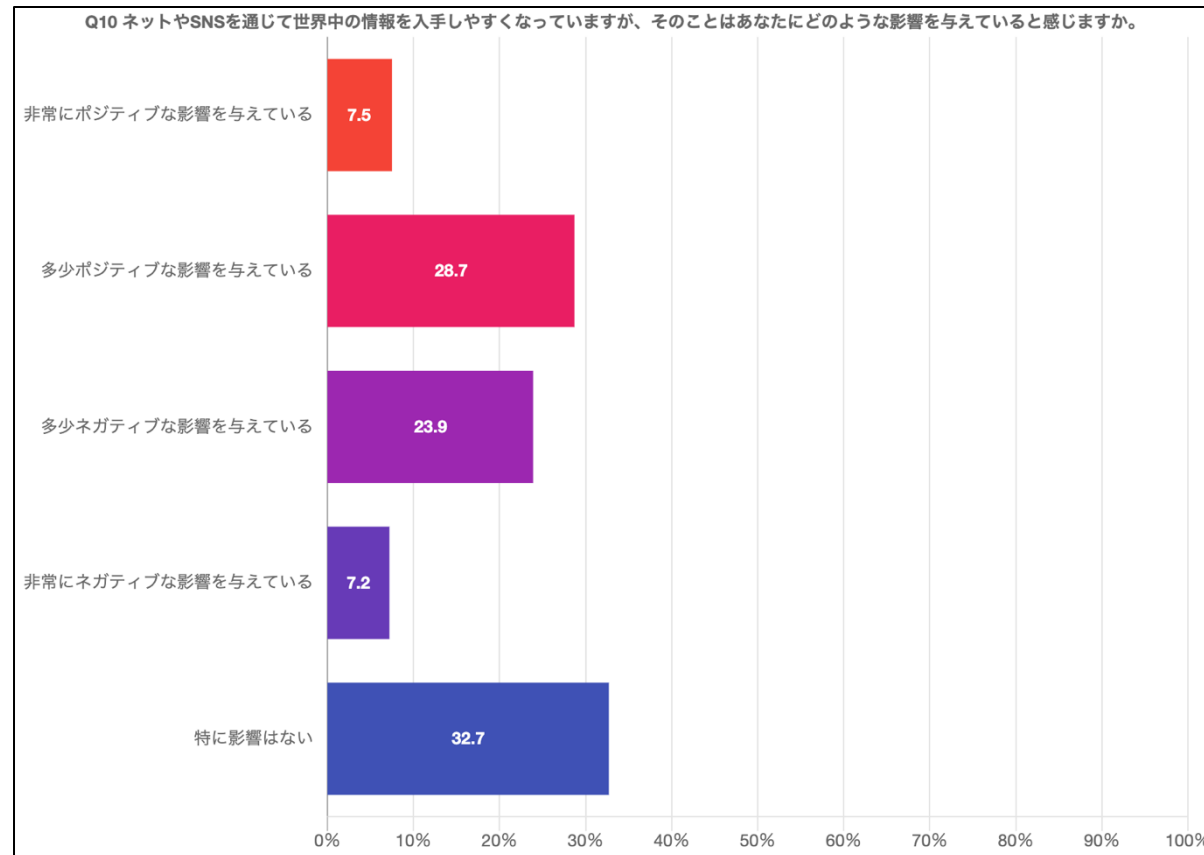
Q9. あなたが日本の政党の中で個々人の「自由」（表現の自由や言論の自由、職業選択の自由など）を尊重していると思う政党はどこですか。（上位3つ）



➤ 「自由を尊重している政党」として、最も上位に選択されたのは自由民主党、次いで国民民主党、立憲民主党が上位に選択される結果となった。

Q10. ネットやSNSを通じて世界中の情報を入手しやすくなっていますが、そのことはあなたにどのような影響を与えていると感じますか。

- 全体の中で、**ポジティブとの回答を選択した人が36.2%、ネガティブとの回答を選択した人が31.1%**と拮抗する結果となった。



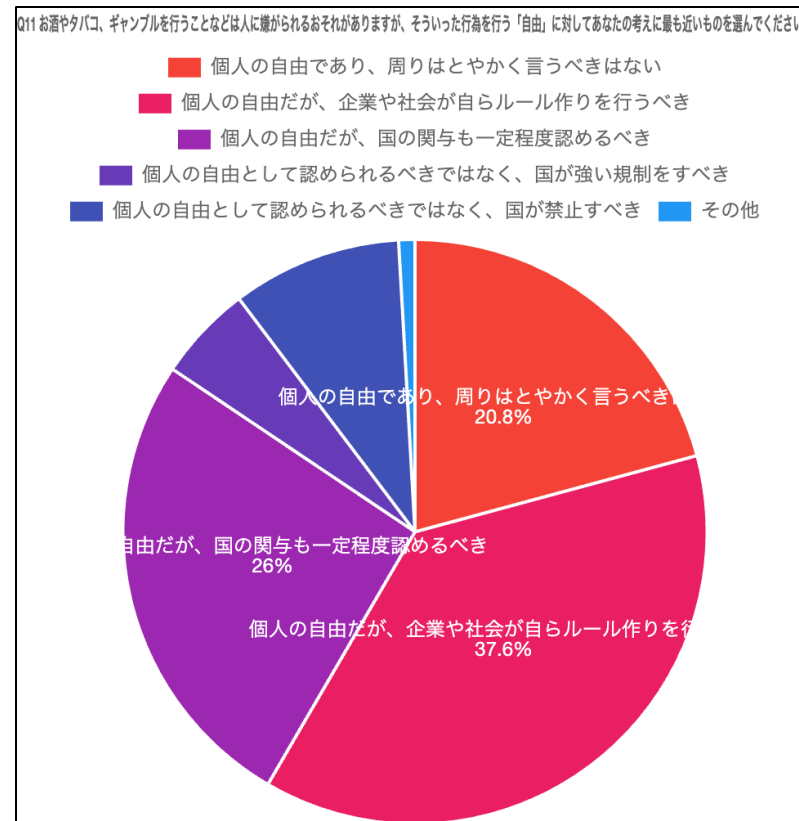
Q10の結果の補足（世代別）

- 世代別で見ると多少の違いが見られたが、必ずしも若い世代だからと言ってポジティブ一辺倒なわけではなく、また年代が上がってもネガティブなわけでもないという結果になった。

	非常にポジティブな影響を与えている	多少ポジティブな影響を与えている	(合計)	多少ネガティブな影響を与えている	非常にネガティブな影響を与えている	(合計)	特に影響はない
10代	10.84%	32.53%	43.37%	27.11%	5.42%	32.53%	24.10%
20代	6.02%	30.72%	36.74%	19.88%	7.23%	27.11%	36.14%
30代	5.42%	27.11%	32.53%	26.51%	7.83%	34.34%	33.13%
40代	9.64%	22.89%	32.53%	24.70%	7.83%	32.53%	34.94%
50代	5.95%	27.98%	33.93%	27.98%	7.74%	35.72%	30.36%
60代以上	7.14%	30.95%	38.09%	17.26%	7.14%	24.40%	37.50%

Q11. お酒やタバコ、ギャンブルを行うことなどは人に嫌がられるおそれがありますが、そういった行為を行う「自由」に対してあなたの考えに最も近いものを選んでください。

- 「個人の自由」との回答を選択する人が84%と高い割合となった一方で、「企業や社会が自らルールづくりをすべき」との回答が37.6%、「国の関与も一定程度認めるべき」との回答が26%と、社会的なルールづくりの重要性を指摘する意見があった。



Q11の結果の補足（世代別）

- 世代別で見ると、40代～60代以上では個人の自由としつつ企業や社会、国の一定の関与を求める回答が多くなったが、10代では個人の自由であるという回答と個人の自由ではないという回答が二分化する傾向となった。

	個人の自由であり、 周りとはやかく言う べきはない	個人の自由だが、企 業や社会が自らルー ル作りを行うべき	個人の自由だが、国 の関与も一定程度認 めるべき	個人の自由として認め られるべきではなく、 国が強い規制をすべき	個人の自由として認め られるべきではなく、 国が禁止すべき	その他
10代	28.31%	31.93%	21.08%	8.43%	9.64%	0.60%
20代	17.47%	34.34%	22.29%	7.23%	18.67%	0%
30代	22.29%	32.53%	27.11%	7.23%	10.84%	0%
40代	22.29%	39.76%	26.51%	2.41%	7.23%	1.81%
50代	19.64%	41.07%	28.57%	2.38%	6.55%	1.79%
60代以上	14.88%	45.83%	30.36%	4.17%	3.57%	1.19%

※同一項目内で上位三つを色分け